

わだいに



▲迫真の演技を披露する劇団員



▲玄海竜二さん（上段右から4人目）と出演した劇団員の皆さん

くまもとの“風”特集番組公開録画 牛深

牛深劇団いざ旗揚げ!!

牛深総合センターの開館30周年を記念して11月3日、NHK熊本放送局で放送されている「くまもとの“風”」の特集番組として、『本日旗揚げ! 玄海劇団〜牛深の段〜』の公開録画が同センターで行われました。これは、大衆演劇役者の玄海竜二さんと地元の人たちで劇団を結成し、芝居を披露することで牛深の魅力をPRしようと企画されたもの。この日は、事前に応募した牛深に住む4歳から79歳までの劇団員14人が出演。約1カ月にわたるけいこの成果を披露する中、訪れた約800人の来場者からは大きな拍手が送られていました。参加した劇団員は、「一生の思い出になった」と話していました。なお、この収録は、12月24日(金)午後7時30分から放送される予定です。

しんわ楊貴妃祭り 新和

玉入れやステージイベントなどで大盛況!

11月14日、市役所・新和支所をメイン会場に「第14回しんわ楊貴妃祭り」が開催され、市内外から約3,500人が訪れました。催しでは、今回で5回目となる“楊貴妃杯竜の玉入れ選手権”に、28チームが参加。優勝賞金10万円を目標として熱戦を繰り広げ、アマチックス新和チームが3連覇を達成しました。また、ステージでは、しんわ楊貴妃太鼓や琉球國祭り太鼓による迫力ある演奏、大田黒浩一座長率いる“劇団きゃあ”による新作にわか披露で来場者を沸かせたほか、各地区振興会などが出店したバザーコーナーでは行列ができるなど、大盛況でした。



▶玉入れのようす



◀勇壮なしんわ楊貴妃太鼓の演奏

島子小学校「人権の花」運動発表会 有明

広げよう! 人権の輪

10月31日、島子小学校で「人権の花」運動の発表会が開かれました。この運動は、花を育てることで生命の大切さを学び、思いやりの心を育てようと天草人権啓発活動地域ネットワーク協議会が実施しているもの。まず、児童たちが4月から校庭で育ててきたヒマワリやアサガオの観察記録などを発表。その後、とれた種といっしょに「拾った人は大切に育ててください」など、思いおもいのメッセージを紙風船に結びつけ、大空高く飛ばしました。



▲空に向かって風船を飛ばす児童たち



▲“見守り袋”を受け取る地区住民

見守り袋配布事業 本渡

安心して暮らせる生活環境づくりを目指して

11月15日、志柿町公民館で「見守り袋配布事業」の配布開始式が行われました。これは、志柿地区振興会と同公民館が、安心して暮らせる生活環境づくりなどを目的に、洗面器やコップなどの入院時に必要な物品を入れた“見守り袋”を、地区内に住む70歳以上のひとり暮らし世帯などに配布する初めての取り組み。この日は、式典のあと、民生・児童委員が対象者の家を訪問。受け取った地区住民は、「こういうのがあれば安心ですね」と笑顔で話していました。



▲幻想的なあかりに包まれたお寺の境内

御領石竹秋宵まつり・御領まちなか文化祭 五和

市民創作のあかりに誘われて

10月23日、御領門前町商店街周辺で御領まちづくり振興会主催による「第6回御領石竹秋宵まつり」が開かれました。催しでは、地域住民などが製作した竹や御領石、陶器の灯ろうがお寺や家の庭などに飾られ、約5,000個のろうそくのあかりがともる中、約2,000人の来場者はふだんとは違った幻想的な雰囲気を楽しんでいました。また、この日は「御領まちなか文化祭」も行われ、同商店街周辺の施設や空き店舗に絵画や陶器、習字などの作品が展示されました。

栖本かっぱ祭り 栖本

河内川の恵みに感謝して

「第12回栖本かっぱ祭り」が11月7日、栖本温泉センター前ふれあい広場で開催されました。これは栖本地区振興会が、水量豊富な河内川の恩恵に感謝し、一次産業の活性化に寄与することを目的に毎年実施しているもの。会場では、ステージイベントのほか天草大王やステビア米など、地元でとれた新鮮な農林水産物を使ったバザーを実施。また、河内川に生息するフナや手長エビなどの展示コーナーも設置され、多くの参加者でにぎわいを見せていました。



▲フナや手長エビを見る家族連れ